

NEWS RELEASE

2024年8月30日(金)

城田優が演出するマジカルで夢のようなクリスマス
SNOOPY のオーケストラコンサート、シリーズ第5弾が全国3都市で開催決定



© 2024 Peanuts Worldwide LLC

ビルボードジャパン（株式会社阪神コンテンツリンク）は、【billboard classics×SNOOPY 『Magical Christmas Night 2024』】と題したSNOOPYのオーケストラコンサートを兵庫、北海道、東京で開催いたします。

PEANUTS コミック 70 周年を祝して 2020 年からスタートしたスヌーピーのオーケストラコンサート。昨年の公演から、城田優が演出とメインパフォーマーの二役をつとめて大きくリニューアル。「スヌーピーと過ごす魔法のクリスマス」を演出したステージは大きな話題となりました。そして今年はメインパフォーマーの城田優に加え、ゲストボーカルとして森崎ウィン（兵庫）、KIMIKA（北海道）、青山テルマ（東京）が出演し、コンサートを彩ります。

PEANUTS の世界にある森をイメージした美しい美術と映像・照明の演出の中で、スヌーピーにまつわるジャズの名曲群や古今東西のクリスマスソング、ヒットチューンをフルオーケストラとジャズピアノトリオの掛け合いでお楽しみいただけます。城田優とゲストボーカルの素晴らしい歌声も皆様を魅了します。とっておきのマジカルな空間の中で夢のようなクリスマスのひと時をお過ごしください。

◎公演情報

billboard classics×SNOOPY『Magical Christmas Night 2024』

[読み]ビルボードクラシックス カケル スヌーピー マジカル クリスマス ナイト ニセンニジュウヨン

開催日時・会場

【兵庫】12月8日（日）開場 18:15 開演 19:00 兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホール

【北海道】12月12日（木）開場 18:00 開演 19:00 札幌文化芸術劇場 hitaru

【東京】12月23日（月）開場 18:00 開演 19:00 東京文化会館 大ホール

※当日は、公演オリジナルグッズ販売を予定しております

出演等：

城田優（出演）

スヌーピー（出演）

森崎ウィン（ゲストボーカル/兵庫）

KIMIKA（ゲストボーカル/北海道）

青山テルマ（ゲストボーカル/東京）

栗田博文（指揮）

宮本貴奈（ピアノ・音楽監修）

ジーン・ジャクソン（ドラムス/北海道・東京）

デニス・フレーゼ（ドラムス/兵庫）

パット・グリーン（ベース）

京都フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ（管弦楽/兵庫）

ビルボードクラシックスオーケストラ with SORA（管弦楽/北海道）

東京フィルハーモニー交響楽団（管弦楽/東京）

FYURA（クワイア）

編曲：

宮本貴奈

萩森英明

岩城直也

舞台スタッフ：

城田優（演出）

松井るみ（美術）

澁谷賢治（照明）

牧嶋康司（音響）

西田淳（映像）

松永美春（グラフィックデザイン）

大澤裕（舞台監督）

<チケット>（税込）

S席一般 12,000円

S席パートナー割（チケット2枚） 21,000円

S席グループ割（チケット3枚） 30,000円

S席グループ割（チケット4枚） 38,000円

A席一般 9,000円

A席パートナー割（チケット2枚） 16,000円

A席グループ割（チケット3枚） 22,500円

A席グループ割（チケット4枚） 28,000円

※全席指定、未就学児入場不可

チケット販売スケジュール：

- ①「PEANUTS FRIENDS CLUB」会員先行（抽選）
受付期間：8月30日（金）15:00～9月15日（日）23:59
- ②城田優オフィシャルFC「LOVE&PEACE」会員先行（抽選）
受付期間：8月30日（金）15:00～9月15日（日）23:59
- ③ビルボードライブ「Club BBL」会員先行（抽選）
受付期間：9月13日（金）15:00～9月16日（月祝）23:59
- ④ローソンチケット独占先行（抽選）
受付期間：9月18日（水）15:00～9月23日（月祝）23:59
- ⑤プレイガイド先行（抽選）
受付期間：9月24日（火）15:00～
- ⑥一般発売
10月12日（土）12:00～

<主催>ビルボードジャパン（阪神コンテンツリンク）、LOVE&PEACE、道新文化事業社、ABC テレビ
<企画制作>ビルボードジャパン（阪神コンテンツリンク）
<協力>ソニー・クリエイティブプロダクツ、PEANUTS WORLDWIDE LLC
<後援>米国ビルボード

公演公式サイト

<https://billboard-cc.com/snoopy2024/>

■注意事項

※車椅子をご利用のお客様は、下記のお問合せ先までお電話にてお問合せください

※チケットはおひとり様 1 枚必要となります。チケットを紛失された方、または当日お忘れになった方はご入場できません

※チケット購入の際は、必ず公式サイトに掲載している注意事項をご確認の上、チケットをお求めください

<ご来場のお客様へのお願い： <https://billboard-cc.com/notice>>

公演に関するお問合せ

【兵庫】キョードーインフォメーション 0570-200-888（11:00～18:00／日・祝 休業）

【北海道】道新プレイガイド 0570-00-3871（10:00～17:00／日曜休）

【東京】キョードー東京 0570-550-799（平日 11:00～18:00/土日祝 10:00～18:00）

ビルボードクラシックス

billboard
CLASSICS

音楽ファンに最高の音楽と新しい体験を届けるため、ビルボードジャパンが2012年にスタートしたコンサートシリーズ。「アーティストの音楽を最高のかたちで届けること」をミッションに、全国の音楽専用ホール等でこれまでに400以上の公演を開催している。

（公式 Web サイト：<https://billboard-cc.com/>）

【添付資料】 出演者プロフィール

城田優（出演・演出）



2003年に俳優デビュー。以降、テレビ、映画、舞台、音楽など幅広く活躍。近年の主な出演作に、ドラマ「エンジェルフライト～国際霊柩送還士～」(Amazon prime/NHKBS)、Netflix コメディシリーズ「トークサバイバー!～トークが面白いと生き残れるドラマ～」シーズン2、映画「コンフィデンスマン JP 英雄編」、大河ドラマ『どうする家康』、連続テレビ小説『カムカムエヴリバディ』（語り手）等がある。舞台では2010年にミュージカル「エリザベート」で第65回文化庁芸術祭「演劇部門」新人賞、2018年ミュージカル『ブロードウェイと銃弾』で第43回菊田一夫演劇賞、2021年ミュージカル「NINE」で第28回読売演劇大賞優秀男優賞を受賞するなど数々の賞を受賞。2016年に「アップル・ツリー」で演出家デビュー。本年5月には東急シアターオーブ、6月にはシンガポール Esplanade Theatres on

the Bayにて、自身がプロデュース・演出・出演するショー「TOKYO～the city of music and love～」を開催し話題に。10月には、デビュー25周年を記念したオーケストラコンサート「城田優 25th Anniversary Orchestra Concert ～featuring Naoya Iwaki」を、東京はサントリーホール、大阪はフェスティバルホールにて開催予定。

<https://shirota-yu.com/>

森崎ウィン（ゲストボーカル/兵庫）



ミャンマーで生まれ育ち、小学校4年生の時に来日、その後中学2年生より芸能活動を開始。

俳優としても様々な役を演じ活躍する中で、2018年に公開されたスティーヴン・スピルバーグ監督の映画「レディ・プレイヤー1」で主要キャストに抜擢されハリウッドデビュー。

2020年に映画「蜜蜂と遠雷」で第43回日本アカデミー賞新人俳優賞。主演を務めたドラマ・映画『本気のしるし』では釜山国際映画祭2021のASIA CONTENTS AWARDSにて Best Newcomer-Actor賞、第73回カンヌ国際映画祭「Official Selection2020」作品に選出。2023年のNHK大河ドラマ『どうする家康』では二代将軍の徳川秀忠を演じた。2024年公開で大ヒットを記録した劇場版『機動戦士ガンダム SEED FREEDOM』では新キャラクターの

グリフィン・アルバレストのCVを担当。

そしてWOWOWの「アクターズ・ショート・フィルム4」で監督、出演をつとめた「せん」が「ショー

トショート フィルムフェスティバル & アジア 2024」でグランプリである「ジョージ・ルーカス アワード」を受賞。

2020年ミュージカル『ウエスト・サイド・ストーリー』Season2で主演トニー役、21年ミュージカル『ジェイミー』で主演ジェイミー役、22年にミュージカル「ピピン」では単独主演、23年には、ミュージカル『SPY×FAMILY』で主演のロイド役を務めるなど舞台でも活躍中。

<https://www.stardust.co.jp/talent/section1/morisakiwin/>

KIMIKA（ゲストボーカル/北海道）

「#渋谷から世界へ」

渋谷 109 のアパレル店員からレディ・ガガとの共演までを果たした今注目のアーティスト KIMIKA。

KIMIKA は 2018 年に元々アパレル店員として働いていた渋谷 109 が主催する「109 路上ライブ」で優勝。その後、動画配信サイトなどで音楽を発信し続け、2018年 LINE LIVE 主催の映画「アリー / スター誕生」スターダムオーディションで見事に優勝。主演のレディ・ガガとラスベガスで感動の対面も果たし、KIMIKA の歌にガガが涙するシーンはテレビでも大きく話題になった。

歌唱力を評価され Beverly のバックコーラスや、多くの楽曲の仮歌など行ってきた。2017年、代々木第一体育館で行われた TOKYO GIRLS MUSIC FESTIVAL 2017 での最終審査では 1 万人の大観衆を圧巻のパフォーマンスで魅了し大喝采を浴びグランプリ獲得。洋楽を中心としたカバーと 30 曲以上のオリジナル楽曲を持ち、ライブや配信などを中心に活動。

<https://kimika.theblog.me/>

青山テルマ（ゲストボーカル/東京）



1987年10月27日生まれ。奈良県出身。

トリニダード・トバゴ人と日本人のクォーター。2007年9月5日にメジャーデビュー、翌2008年にリリースした「そばにいるね feat. SoulJa」が大ヒットし注目を集める。ファッションや写真、アートと多趣味で持ち前のセンスと、明るくて元気なキャラクターからドラマ、バラエティ番組でも活躍の場を広げる。フォロワー数 100 万人超の自身の SNS での発信も注目の的。

ヘアケアブランド「mythm(ミズム)」をプロデュース。発売後すぐに楽天ヘアケアランキングで1位を獲得、シリーズ累計 51 万本突破。躍。2022年にはデビュー15周年を迎え、11月4日には初

の東京・日本武道館でワンマンライブ「Thelma Aoyama 15th Anniversary～おにぎりフェスティバル～(仮)」を開催した。

現在は NHK 教育テレビ「英会話フィーリングリッシュ～データで選んだ推しフレーズ～」のレギュラーMC。

テレビ朝日「フリースタイル日本統一」レギュラーMC。

GooglePixel の広告塔などマルチに活躍をする。

OFFICIAL 公式サイト：<https://thelma.jp>

栗田博文（指揮）



1988年、第23回東京国際音楽コンクール指揮部門において第1位優勝を果たし、翌年、国内主要オーケストラを指揮しデビュー。1989年に渡欧。同年、第1回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクール（イタリア）に入賞し国際的な評価を確立。1995年、第1回シベリウス国際指揮者コンクール（フィンランド）の最高位に輝く。同年、フィンランド放送交響楽団より招かれ、ヨーロッパデビューを果たし大好評を博す。国内外の活発な指揮活動とともに、国立音楽大学客員教授を務め、後進の指導にも力を注いでいる。クラシック音楽の古典から現代作品まで、幅広いレパートリーを持つほか、様々なジャンルとのコラボレーションも積極的に行っている。

栗田博文ブログ <http://hirofumi-kurita.com/>

宮本貴奈（ピアノ・音楽監修）



ピアニスト・作編曲家。物語が見えるようなサウンド、繊細かつダイナミックで多彩なサウンドで、ジャズ、ポップスから弾き語り、オーケストラまで幅広く活躍。米英で20年活動（ボストン、NY、アトランタ、ロンドン）、約30カ国で演奏。

1998年エドマン・ジャズピアノ大会で全米優勝、ピアノ&アレンジ参加アルバムが米グラミー賞2部門でノミネートの他、「アトランタベストジャズ（2年連続）」「ジョージア州で最も影響力のある女性」等、受賞多数。バークリー音楽大学の映画音楽作曲・ジャズ作曲両学科を全学費免除特待生として卒業、ジョージア州立大学ジャズ教育学修士課程卒、同大学講師。

2013年帰国、【On My Way】で日本デビュー。八神純子、佐藤竹善、サラ・オレイン、May J、小野リサ、城田優、稲垣潤一等と共演、アレンジ・プロデュース、オーケストラ編曲、音楽監督、ソリスト、劇版音楽まで幅広く手がける。国立音大講師。2020年

【ワンダフル・ワールド】発表、ミュージックベンクラブ音楽賞 最優秀作品賞受賞。2023年ミューザ川崎シンフォニーホールのジャズ部門ホールアドバイザー就任。

www.takana.net

ジーン・ジャクソン（ドラムス）

米国ペンシルバニア州フィラデルフィア生まれ。1979年にボストンのバークリー音楽大学で Branford Marsalis、Cyrus Chestnut、Jeff Watts など多くの有名なジャズアイコンと共に学ぶ。ベテランジャズギタリスト Kevin Eubanks のバンドに参加しながら、1987年に New York に移り、プロドラマーとしてのキャリアを積み重ねていった。Dave Holland、Christian McBride、Andrew Hill、Terence Blanchard、Hugh Masekela、Diane Reeves など、世界のトップジャズミュージシャンと共演し、数多くの世界ツアーやジャズフェスティバル、150 を超えるレコーディングに参加。その中でも注目すべき活動は、1991年の Herbie Hancock & Wayne Shorter Quartet、1993年から2000年まで Herbie Hancock Trio & Quartet への参加である。2018年ジーン・ジャクソンがリーダーを務める Trio NuYorx のアルバム【Power Of Love】を Whirlwind Recordings からリリース。現在プリンス・クラウス音楽院（オランダ）と洗足学園で指導にも力を注いでいる。

デニス・フレーゼ（ドラムス）

ドイツ・ハノーファー生まれ。米バークリー音楽大学を首席で卒業。ドイツへ帰国後、ブランフォード・マルサリス、ジェシ・デイビスなどと共演し、全欧各国での演奏活動を幅広く展開すると同時に、教育の場でも実績を挙げる。2009年より東京を拠点に活動中。主な共演者は渡辺貞夫、小曾根真、松田聖子、小野リサ、中村誠一、原朋直、中川英二郎、守屋純子など。リーダーアルバムを今野敏が主宰する 78LABEL よりリリース。現在、洗足学園音楽大学ジャズコースの講師として後進の指導にも当たっている。

パット・グリーン（ベース）

米国ニュージャージー州出身。ニューヨークを主な拠点とし約10年間ブロードウェイミュージカルやジャズクラブ（ブルーノート、スモールズ、タウンホール、ビターエンド等）でサム・リヴァース、ボビー・ヴィントン、シガー・ロスといったアーティスト達と演奏を共にし、キャリアを重ねた。2007年に来日してからは、エディ・ヘンダーソン、エリック・アレキサンダー、松田聖子、今井美樹、八神純子といった国内外のアーティスト達と共演。さらに様々なミュージシャンのレコーディングに参加し活動の場を広げ、自身初のリーダーアルバム【Who's On Bass】（ピアノ：サイラス・チェスナット、ドラム：カール・アレン）をリリースした。レイクランド大学ジャパンキャンパスで音楽を教えている。

京都フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ

近年、サラ・ブライトマンや玉置浩二をはじめとする先鋭的音楽活動が注目されている京都フィルハーモニー室内合奏団を中核に特別編成。京都フィルハーモニー室内合奏団は1972年に結成。一人一人がソリストの個性派揃いのプロの合奏団。定期公演、特別公演、室内楽コンサート、子供のためのクラシック入門コンサート等を主催すると同時に、各地ホール・教育委員会・鑑賞団体・テレビ・ラジオ・芸術祭等に多数出演している。「クオリティは高く、ステージは楽しく」というポリシーを持った京フィルは、クラシック音楽の他に様々なジャンルの音楽もセンスある編曲を施して演奏し、多くの聴衆を魅了している。国内外の演奏家や指揮者と共演する一方、狂言、文楽人形、津軽三味線、尺八等の日本の伝統芸能とのコラボレーションや、俳優、タレント、落語家、漫才師等の異分野との共演も積極的におこなない、「挑戦する室内オーケストラ」と大好評を博している。

ビルボードクラシックスオーケストラ with SORA

新しい音楽を開拓する意思のもと、関東・関西の主要オーケストラから選抜した俊英演奏家たちが集結

したビルボードクラシックスオーケストラと SORA（札幌交響楽団・主席オーボエ奏者 岩崎弘昌氏によって 2008 年春に結成された 70 名以上が所属する演奏団体）による特別編成オーケストラ。これまでに、玉置浩二、山崎育三郎など多くのビルボードクラシックス公演に出演、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつと同時に、ダイナミックで華麗なビルボードクラシックスの特有の音楽表現に挑む。

東京フィルハーモニー交響楽団

1911 年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約 160 名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK 他における放送演奏の他、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21 年には『情熱大陸』『BS1 スペシャル』などのドキュメンタリー番組や国民的番組『NHK 紅白歌合戦』にも登場。1989 年より Bunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的・創造的な文化交流を行っている。

<https://www.tpo.or.jp/>

FYURA (クワイア)



Niina、Vivvy、LUNA、k2、Yuki、yuzu の 6 名からなるヴォーカルグループ FYURA。

生い立ちも個性も何もかもが不揃い。

だからこそ 6 人が声を合わせると心地よい“揺らぎ”が生まれる。

個性豊かな歌声で、ソウル、ファンク、HIP HOP、ロックなど、あらゆるジャンルの曲を歌いこなす。

メンバーで最年少 14 歳の yuzu は、城田優プロデュースの TOKYO～the city of music and love～に出演した。

About Peanuts

The characters of Peanuts and related intellectual property are owned by Peanuts Worldwide, which is 41% owned by WildBrain Ltd., 39% owned by Sony Music Entertainment (Japan) Inc., and 20% owned by the family of Charles M. Schulz, who first introduced the world to Peanuts in 1950, when the comic strip debuted in seven newspapers. Since then, Charlie Brown, Snoopy and the rest of the Peanuts gang have made an indelible mark on popular culture. In addition to enjoying beloved Peanuts shows and specials on Apple TV+, fans of all ages celebrate the Peanuts brand worldwide through thousands of consumer products, as well as amusement park attractions, cultural events, social media, and comic strips available in all formats, from traditional to digital. In 2018, Peanuts partnered with NASA on a multi-year Space Act Agreement designed to inspire a passion for space exploration and STEM among the next generation of students.

【「ピーナッツ」とは】

「ピーナッツ」のキャラクターおよび関連する知的財産権は、Peanuts Worldwide が所有し、WildBrain が 41%、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントが 39%、チャールズ M.シュルツ氏のファミリーが 20%を保有しています。チャールズ M.シュルツ氏が初めて「ピーナッツ」の仲間たちを世の中に紹介したのは、1950 年。「ピーナッツ」が 7つの新聞紙上でデビューを飾った時でした。それ以来、チャーリー・ブラウン、スヌーピーをはじめとするピーナッツ・ギャングたちは、ポップカルチャーに不滅の足跡を残してきました。Apple TV +で親しまれているピーナッツの番組や特番に加えて、世界中のファンの皆様には、多種多様な商品、アミューズメントパークのアトラクション、文化イベント、ソーシャルメディア、そして伝統的な紙媒体からデジタルまで各種媒体で掲載されている連載コミックなどを通して「ピーナッツ」を楽しんでいただいています。さらに 2018 年、「ピーナッツ」は、NASA とスペース・アクト・アグリーメントで複数年の提携をしました。このスペース・アクト・アグリーメントは、宇宙探査と STEM への情熱を啓発するよう次世代の子供たちに向けてデザインされたプログラムです。

■関連 URL

- ・日本のスヌーピー公式サイト <http://www.snoopy.co.jp/>
- ・日本のスヌーピー公式 Facebook ページ「Snoopy Japan」 <https://www.facebook.com/SnoopyJapan>
- ・日本のスヌーピー公式 X アカウント「Snoopy Japan」 <https://x.com/snoopyjapan>

■当社からお送りする画像をご利用の際は、必ず下記クレジットを表記してください。

© 2024 Peanuts Worldwide LLC (短縮形 © 2024 Peanuts)